

280-am08

退院時服薬指導サマリーの作成とその評価

○中嶋 亜紀¹, 堀 康子¹, 横山 英典¹, 岩崎 恵里奈¹, 松本 利恵¹, 大島 英敬¹, 森田 則彦² (¹松波総合病院薬剤部, ²松波総合病院循環器内科)

【目的】当院循環器内科では入院にて心臓カテーテル検査を行っており、検査時に使用する造影剤等による副作用の早期発見のためには検査前に患者指導を行うことが必要と考えられる。また循環器内科の患者には高齢者が多く処方数も多いため、薬剤師が持参薬を確認し薬剤管理指導を行うことはコンプライアンスの向上につながる。さらに当院へ紹介となった患者に対し入院中に行った薬剤管理指導内容を連携医と共有するために退院時服薬指導サマリーを作成し、その有用性を評価したので報告する。

【方法】心臓カテーテル検査目的で入院された患者全てに対し検査前日に薬剤管理指導を行い、検査時の点滴や検査薬についての使用薬品説明書を渡し説明を行った。退院時には退院処方の有無や変更点と検査中の副作用発現を確認し退院時服薬指導を全ての患者に行った。連携医からの紹介患者に対しては退院時服薬指導サマリーを作成し医師の報告書とともに送付した。さらに薬剤管理指導内容、サマリーの内容を評価するため、循環器内科の医師と病棟看護師、連携医に対しアンケートを行った。

【結果・考察】検査前に全ての患者へ薬剤管理指導を行うことにより、造影剤等の副作用歴や検査前中止薬の有無、重複投与の確認を確実に行うことができた。これにより心臓カテーテル検査に関するリスクマネジメントに貢献できたと思われる。アンケート結果から、検査前の薬剤管理指導や退院時薬剤管理指導サマリーの作成は有用であることが分かったが、内容はさらに検討し改善の余地があると考えられた。今後は、全科の紹介患者に対し退院時服薬指導サマリーを作成できるよう、服薬指導システムや業務内容を検討していきたい。